

## 株式会社 KSK

# 6期連続で増収増益。技術力と人間力を高める手厚い教育制度で成長し続ける

—専任講師が7名。合計500名収容できる13の教室と社員寮を備える「KSK カレッジ」

### 記者の目



- ▶ 3つの事業領域で幅広いビジネスを展開
- ▶ 絆を強化するさまざまな施策で健康経営銘柄&ホワイト500にも認定

2020年3月期、KSKは売上高・営業利益・経常利益すべてで過去最高を更新し、かつ過去6年連続で売り上げ、利益ともに増収増益を続ける成長企業である。

同社の事業はシステムLSIを中心とする半導体設計、自動車などの組み込みソフトウェア開発などを行う「システムコア事業」、業務用パッケージソフトウェアや各種システム開発、インフラ構築などを行う「ITソリューション事業」、ネットワークシステムの設計、構築から運用、保守までをワンストップで行う「ネットワークサービス事業」の3つのセグメントからなる。

好調の背景には、成長分野への積極的展開が挙げられるが、最大の要因は、長年にわたって取り組んできた、技術力と人間力とのバランスが取れた人材育成システムの強化にある。



代表取締役社長  
牧野 信之さん

### 充実の教育制度 「KSK カレッジ」

牧野信之社長は、「教育システムがしっかり構築できていることが当社の強み」と自信を見せる。KSKには新人から中堅、管理職に至るまでさまざまな研修教育プランが充実しているが、その中核を担っているのが「KSKカレッジ」だ。カレッジには常勤の専任講師が7名おり、実機研修用のPCやサーバーなどネットワーク環境が揃った教室を含めた13の教室で、合計504名が研修を受けることができる。

特徴的なのは、技術研修に加えて人間力研修にも力を入れ、技術力と人間力のバランスの取れた人材の育成を行っていることだ。新入社員はビジネスに不可欠なスキルや社会人としての考え方やマナーなどの研修に続き、それぞれの業務に必要な技術に関する資格取得に向けた研修を約5カ月間にわたって受ける。2年目には、1年目で体験した現場の悩みや課題への対処法などの研修でしっかりとフォローし、3年目にはキャリアアップを図るための目的別の研修などがあり、さらに中堅社員や管理職に向けたリーダーシップ研修などが続く。

一方、技術力向上については、個人のキャリアパスに応じた必要な技術や能力をスキルロードマップとして可視化。そのキャリアにふ

さわしいスキル、そのための資格や実務経験などが分かるようになっている。資格取得のために内部研修のほか外部研修を受けることも可能で、資格を取得した際の報奨金制度もあり、能力開発に向けたモチベーションを維持する仕組みが整っている。また、習得した技術を生かして新たな業務に志願し挑戦できる制度として「New Career Challenge 制度」が導入され、社員がその能力を最大限に発揮できる環境となっている。

### 社員を大切にす施策、続々

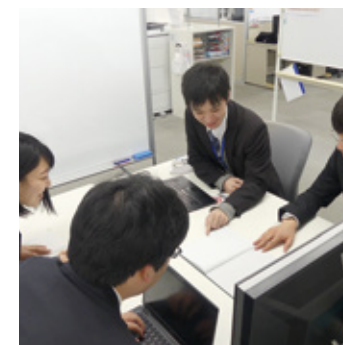
さらに2020年度から、新卒新人に対して生活面でさまざまな悩みを相談できる若手の「アソシエイト」と、技術面の指導を受け持つ「OJTリーダー」の2名の先輩がフォローする体制となった。相談を受ける先輩社員にとっても、指導力やリーダーシップを養う効果があるという。

これほどまでに徹底した教育システムを導入しているのは、過去に停滞期を経験したことから、人材活性化の重要性を認識したためだ。

2003年には、複数の社員で仕事に取り組む「チーム制」を導入。すると徐々に業績が上がっていった。その他、同社には他の社員に感謝の気持ちを伝え讃え合う「Smile Card」や、パーベキューを通じた協同作業により親睦を深める「BBQ インビテーションカー



技術力と人間力、バランスの取れた研修制度



チーム会議は情報共有だけでなく成長の場にも



東証・経産省共同の「健康経営銘柄」に2年連続で選定

ド「BIC」、仲間と同じ本を読んで感想を語り合う「読書会」、チームメンバー皆で展開する「5S活動」などユニークな施策が多い。定期健康診断100%受診、喫煙者ゼロの達成など社員の健康作りにも徹底的に配慮している。

「私たちが目指すのは、人と組

織が信頼と共感でつながっている企業風土の醸成です。その実現に向けて、これからも社員の絆を強くするさまざまなエンゲージメント施策を打ち続けていきます」(牧野社長)。その結果は業績だけでなく、情報通信業の上場企業では3社しか選定されていない健康経

営の最優良企業の証である「健康経営銘柄」に2年連続で選ばれているほか、4年連続で「ホワイト500」に認定されるという評価にも現れている。

同社は、人を大切にする環境作りが人と企業を成長させるということを体現する企業である。

### 理系出身の若手社員に聞く

### 互いを成長させるチーム制が魅力

エンベデッドシステム事業部 チームリーダー 山口 知也さん  
(2016年入社)

大学では、電気電子情報学科でロボット制御を研究していました。組み込みソフトを作り、実際に組み込んでいたこともあり、独立系のIT企業であるKSKなら、いろいろな企業のさまざまなソフトの開発に関われそうだと思います。入社しました。

最初は大手車載Tier1の案件で組み込みソフトの開発をし、基本スキルを習得しました。今は世界大手自動車メーカーの研究開発部門と共同でIoTシステムの開発を担当し、IT技術者として着実にステップアップしていると感じています。KSKは教育サポートシステムが充実していて助かっています。変わってるなと思える制度もありますが、後々、ああこのためにあるんだと腑に落ちるものばかり。一番気に入っているのはチーム制です。お互いの良いところを吸収でき、成長できている気がしています。



### 会社DATA

所在地：東京都稲城市百村1625番地2  
設立：1974年5月  
代表取締役会長 河村 具美、代表取締役社長 牧野 信之  
資本金：14億4846万円  
社員数：2238名（連結、2020年9月）  
事業概要：システムコア事業、ITソリューション事業、ネットワークサービス事業を中心に展開  
URL：https://www.ksk.co.jp/

